

事業シート

事業名	〇A機器適正化配置事業				事業開始年度				
上位施策事業名					担当局・部名	企画部			
根拠法令等					担当課・担当名	情報政策課 情報システム管理担当			
事務区分	■自治事務 □法定受託事務				作成責任者	林田 博之			
実施の背景	各課でプリンタを購入し印刷していたが、入間市として印刷枚数、トナー代等の消費量が明確でなかった。情報政策課が〇A機器管理システムと共に複合機を設置することにより、印刷枚数等を一元管理することとなったものである。								
目的 (何のために)	〇A機器管理システムは、印刷枚数制限や枚数集計、状態管理等を一元管理できる複合機管理システムの運用及び複合機の認証プリントを実施することができる。 また、カラー印刷は一枚単価が高いため枚数制限（300枚/月）を実施している。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	職員				対象者数（全住民に対する割合） 人 100 %)			
	実施方法	□直接実施 ■業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者：富士フイルムビジネスソリューションジャパン(株)） □補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ） □貸付（貸付先： ） □その他（ ）							
		事業内容 ・複合機は、各1～2課に配置し、印刷、コピー、スキャン（一部FAX）機能を有している。部署ごとに印刷枚数を分析し、機種、用途に合わせて複合機を配置している。 ・〇A機器管理システムは、印刷枚数制限や枚数集計、状態管理等を一元管理できる複合機管理システムの運用及び複合機の認証プリントができるシステムである。 ・故障等については保守契約している。 ・トナーについては、使用料契約をしているため、使用枚数に応じて支払いをしている。							
		関連事業 (同一目的事業等)							
	コスト	2024 年度（予算）		2023 年度（決算）		2022 年度（決算）		2021 年度（決算）	
事業費合計		15,811 千円	12,540 千円	15,697 千円	15,719 千円				
事業費内訳 (2023年度分)		(委託料) ・〇A機器管理システム保守業務委託：607,310円 (使用料及び賃貸借料) ・〇A機器管理システム一式：1,026,960円（リース） ・複合機使用量：10,906,221円（印刷枚数×単価） ※参考 印刷単価 市役所本庁等 白黒0.9円 カラー 9円 地区センター等 白黒1.1円 カラー 9円 保育所等 白黒2.5円 カラー15円							
担当正職員		0.108人 853 千円	0.108人 853 千円	0.108人 853 千円	0.108人 853 千円				
臨時職員等		0人 0 千円	0人 0 千円	0人 0 千円	0人 0 千円				
人件費合計	0.108人 853 千円	0.108人 853 千円	0.108人 853 千円	0.108人 853 千円					
総事業費	16,664 千円	13,393 千円	16,550 千円	16,572 千円					

事業シート

事業名		〇 A 機器適正化配置事業						事業開始年度			
財源 内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円		千円
		国県支出金の内容									
	地方債		千円		千円		千円		千円		千円
		その他特財		千円		千円		千円		千円	
	その他特財の内容										
	一般財源		千円		千円		千円		千円		千円
財源合計		16,664 千円		13,393 千円		16,550 千円		16,572 千円			
事業 実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）				単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		〇 A 機器管理システム（白黒印刷枚数）				千円	7,844/8,000	10,227/11,000	10,297/11,000		
		〇 A 機器管理システム（カラー印刷枚数）				千円	2,044/2,200	2,397/2,200	2,017/2,200		
単位当たりコスト		総事業費	/	総印刷枚数	千円	1.35	1.31	1.35			
事業 成果	成果目標 （指標設定理由等）	システムを安定稼働させることにより、各課の業務に支障が生じないように管理すること。									
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）				単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		業務安定稼働				日	350/365	363/365	364/365		
							/	/	/		
							/	/	/		
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域		要改善		☒ 現行通り・拡充			
評価の内容		システムの安定が稼働のため、システム導入時には十分な性能の機器を選定、導入している。 しかし、システム外の要因、ハードウェア機器の耐用年数により、予期せぬ障害は発生することがある。 今後は、ペーパーレス化を進めると事務で使用する情報機器媒体の比率があがってくるとされるが、情報機器に依存しない、または、障害発生時にも対応できる体制の構築が必要であると考え。									
課題	2023年度	2021年度に学校パソコンを事務用パソコンに流用したことにより、印刷に遅延が生じた。									
	2024年度	2021年度に学校パソコンを事務用パソコンに流用したことにより、印刷に遅延が生じた。 〇 A 機器管理システムの長期利用によるサーバー負荷のため、パフォーマンス低下が発生し、印刷できない障害が発生した。									
今後の予定		新庁舎建設を予定しているため、2027年度6月まで現〇 A 機器管理システムを使用し、2027年度7月に最適化を鑑み複合機を配置するとともに、〇 A 機器管理システムを入れ替える予定。									
比較参考値 （他自治体での類似 事業の例など）											
特記事項		当該事業は事務用パソコン、複合機等々、通常業務の根幹を担う機器を扱っている事業である。そのため、安易な予算削減による2021年度のような劣化したパソコンを使用すると、ペーパーレスに耐えられず、業務負担増加に直結する懸念がある。									